

■委員長報告概要■

		令和4年3月定例会
		総務文教常任委員会
議 案 件 名	議案第12号 山陽小野田市宿泊研修施設きらら交流館の指定管理者の指定について	
概 要	現指定管理者の指定期間が本年3月31日をもって満了するため、指定管理者選定委員会の審議を経て候補者に選定された現指定管理者である富士商株式会社を本年4月1日から来年3月31日までの1年間、指定管理者に指定するもの	
論点又は審査によって明らかになった事項	<ul style="list-style-type: none"> *指定期間は1年間であるが、トロン温泉の商標の使用期限が令和5年2月28日となっていることや設備の老朽化が著しいことなどから、営業は来年2月末までの11か月間で、残り1か月間は残務整理期間となる。 *新型コロナウイルス感染症の拡大による影響で2回休館し、営業再開後も客足が戻らず減収となったため、令和2年度指定管理者評価表における利用状況と収入状況の評価点が事業計画を大きく下回ってゼロ点となった。 *指定管理者制度事務マニュアルにより、施設の再整備等、具体的スケジュールに基づいた施設の方向性が明確な場合は単独指名できることから、現指定管理者を単独指名した。 *本市の施設の指定管理業者が長年固定化している要因として、指定管理料が安く、利益が出づらいことがあると考えられる。民間活力の導入によるサービスの向上という指定管理者制度の趣旨にそぐわない面があり、次回以降、指定管理料の算定方法をいろいろ検討していく。 *今回の指定は、指定期間の初日まで半月足らずの時期であり、準備に余裕がなく、雇用等に影響が出る可能性があったため、今後、同制度を進める際には十分に留意して手続を進めていく。 	
討 論	なし	
結 果	全員賛成で可決	

■ 委員長報告概要 ■

	令和 4 年 3 月 定例会
	民生福祉常任委員会
議 案 件 名	議案第 3 号 令和 3 年度山陽小野田市国民健康保険特別会計補正予算（第 3 回）について
概 要	今回の補正は、決算を見込んだ調整であり、歳入歳出それぞれ 297 万 7,000 円を追加し、予算総額を 75 億 6,054 万 5,000 円とするもの
論点又は審査によって明らかになった事項など	<p>*特定健診委託料 467 万 2,000 円の増額は、直近 3 年間の状況から、個別健診の対象者数が、当初予算編成時の 3,100 人から 3,500 人になると見込み、調整するもの</p> <p>*令和 4 年 1 月 31 日現在、被保険者数は 1 万 1,882 人、保険料収納率は 73.24%である。</p> <p>*基金残高は、3 月末に 9 億 7,364 万 9,940 円を見込んでいる。</p>
討 論	討論なし
結 果	全員賛成で可決

議 案 件 名	議案第 4 号 令和 3 年度山陽小野田市介護保険特別会計補正予算（第 4 回）について
概 要	今回の補正は、決算を見込んだ調整であり、歳入歳出それぞれ 135 万 6,000 円を減額し、予算総額を 67 億 7,599 万 1,000 円とするもの
論点又は審査によって明らかになった事項など	*市民がボランティアで運営している通いの場は、市内に 80 か所前後ある。
討 論	討論なし
結 果	全員賛成で可決

■ 委員長報告概要 ■

	令和 4 年 3 月定例会
	民生福祉常任委員会
議 案 件 名	議案第 5 号 令和 3 年度山陽小野田市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 2 回）について
概 要	今回の補正は、決算を見込んだ調整であり、歳入歳出それぞれ 73 万 8,000 円を減額し、予算総額を 11 億 3,405 万 6,000 円とするもの
論点又は審査によって明らかになった事項など	<ul style="list-style-type: none"> *後期高齢者医療広域連合納付金 55 万 2,000 円の減額は、事務費等負担金の確定に伴うもの *人事院勧告に準じた給与改正及び決算を見込んだ給与等の調整は、一般職員 3 名分である。
討 論	討論なし
結 果	全員賛成で可決

議 案 件 名	議案第 7 号 令和 3 年度山陽小野田市病院事業会計補正予算（第 2 回）について
概 要	今回の補正は、決算を見込み、入院患者数を一日平均 13 人減の 151 人に、外来患者数を一日平均 7 人増の 392 人に変更するなどして調整したものであり、病院事業収益を 4,185 万 3,000 円増の 46 億 6,142 万 1,000 円、病院事業費用を 7,765 万 8,000 円増の 48 億 4,660 万 9,000 円とするもの。これにより、損益計算は 8,195 万円の単年度純損失となる。
論点又は審査によって明らかになった事項など	<ul style="list-style-type: none"> *病床稼働率は 70.2%である。 *新型コロナ関係補助金は、総額 2 億 7,297 万 4,000 円を増額する。 *ジェネリックの使用は使用量ベースで 73%である。
討 論	討論なし
結 果	全員賛成で可決

■委員長報告概要■

	令和4年3月定例会
	民生福祉常任委員会
議 案 件 名	議案第11号 山陽小野田市病院局企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について
概 要	<p>国の一般会計補正予算に、地域でコロナ医療など一定の役割を担う医療機関に勤務する看護職員の処遇を改善するための補助事業が創設されたことに伴い、給料の調整額を新設し、看護職員の処遇を改善するため、所要の改正を行うもの</p>
論点又は審査によって明らかになった事項など	<p>*看護職員の職務の特殊性等を考慮し、処遇改善の手法として給料の調整額を設けるもの</p> <p>*看護職員とは、看護師、助産師、保健師、准看護師である。</p>
討 論	討論なし
結 果	全員賛成で可決

■ 委員長報告概要 ■

	令和 4 年 3 月定例会
	産業建設常任委員会
議 案 件 名	議案第 2 号 令和 3 年度山陽小野田市駐車場事業特別会計補正予算（第 2 回）について
概 要	今回の補正は、駐車場使用料の増収に伴うもので、歳入歳出ともに 247 万 3,000 円を増額し、予算総額を 3,208 万 2,000 円とするもの
論点又は審査によって明らかになった事項など	<ul style="list-style-type: none"> * 令和元年度に比べて駐車場の利用台数が 3 分の 2、使用料が半分になったのは、短時間利用者の割合が増えたため。 * 定期駐車券の利用者が増えたのは、近隣市の利用者が新幹線を利用しているからと分析している。
討 論	討論なし
結 果	全員賛成で可決

議 案 件 名	議案第 6 号 令和 3 年度山陽小野田市小型自動車競走事業特別会計補正予算（第 4 回）について
概 要	今回の補正は、決算を見込んだ調整と人件費の調整であり、歳入歳出それぞれ 3 億 5,721 万円を追加し、予算総額を 233 億 9,868 万 1,000 円とするもの
論点又は審査によって明らかになった事項など	<ul style="list-style-type: none"> * 重勝式「当たるんです」の売上げが減り、ミッドナイトレースの売上げが増えている。 * 地域公益事業は 1,700 万円の予算で事業を進めている。
討 論	討論なし
結 果	全員賛成で可決

■ 委員長報告概要 ■

	令和 4 年 3 月定例会
	産業建設常任委員会
議 案 件 名	議案第 8 号 令和 3 年度山陽小野田市水道事業会計補正予算（第 1 回）について
概 要	<p>今回の補正は、決算を見込んだ調整であり、収益的収支の収入では給水収益等 2,730 万 4,000 円を増額し、収入総額を 15 億 1,444 万 4,000 円とし、支出では人件費、委託料等を 1,414 万 1,000 円減額し、支出総額を 13 億 6,126 万 4,000 円とするもの</p> <p>資本的収支の収入では 2,327 万 6,000 円を減額し、収入総額を 3 億 7,514 万 5,000 円とし、支出では建設改良費等を 1,781 万 7,000 円減額し、支出総額を 9 億 5,125 万 2,000 円とするもの</p>
論点又は審査によって明らかになった事項など	<p>*有収率は 86.8%を見込んでおり、改善させるには管路の漏水を減らすことが必要である。</p> <p>*厚東川ダムの水のカビ臭除去のため、粉末活性炭等の薬品費が増加している。</p>
討 論	討論なし
結 果	全員賛成で可決

議 案 件 名	議案第 9 号 令和 3 年度山陽小野田市工業用水道事業会計補正予算（第 1 回）について
概 要	<p>今回の補正は、収入と諸経費の決算を見込んだ調整で、収益的収支の収入では他会計負担金等 296 万 5,000 円を減額し、収入総額を 2 億 8,508 万 3,000 円とし、支出では動力費、負担金等を 1,558 万円減額し、支出総額を 2 億 1,898 万 4,000 円とするもの。資本的収支の支出では、建設改良費を 2 万円増額し、支出総額を 2,983 万 9,000 円とするもの。</p>
論点又は審査によって明らかになった事項など	<p>*山口県企業局でずい道点検作業を行なった場合、当該事業による電気代の増加分は山口県企業局が全額支払う。</p> <p>*田辺三菱製薬工場株式会社小野田工場の使用水量は、過去 5 年間にわたり減っている。</p>
討 論	討論なし
結 果	全員賛成で可決

■ 委員長報告概要 ■

	令和 4 年 3 月定例会
	産業建設常任委員会
議 案 件 名	議案第 10 号 令和 3 年度山陽小野田市下水道事業会計補正予算 (第 3 回) について
概 要	<p>今回の補正は、人事院勧告に伴う人件費の調整と国の第 1 号補正予算による国庫補助金の追加交付に伴う事業の実施によるもの。収益的収支の収入では一般会計負担金を 86 万 9,000 円減額し、収入総額を 19 億 970 万 7,000 円とし、支出では人件費及びシステム改修負担金 86 万 9,000 円を減額し、支出総額を 18 億 7,847 万 3,000 円とするもの。資本的収支の収入では企業債及び補助金を 5,939 万円増額し、出資金を 267 万 9,000 円減額し、収入総額を 14 億 1,540 万 6,000 円とし、支出では建設改良費を 5,671 万 1,000 円増額し、支出総額を 21 億 9,089 万 7,000 円とするもの。</p>
論点又は審査によって明らかになった事項など	<p>*営業外収益は、預金利息、他会計負担金、一般会計からの繰入金、長期前受金戻入、消費税の還付金、行政財産の使用料等である。</p> <p>*下水道管渠の整備は、毎年普及率を 0.5%引き上げること为目标としているが、今年度は小野田西集落排水が公共下水道につながったことで、約 2%上昇した。</p> <p>*公共下水道普及率は 57.6%となっている。</p>
討 論	討論なし
結 果	全員賛成で可決

■ 委員長報告概要 ■

		令和 4 年 3 月定例会
		一般会計予算決算常任委員会
議 案 件 名	議案第 1 号 令和 3 年度山陽小野田市一般会計補正予算（第 17 回）について	
概 要	今回の補正は、人事院勧告及び人事異動を踏まえた人件費の調整や決算を見込んだ調整などであり、歳入歳出それぞれ 2 億 4,386 万円を減額し、予算総額を 327 億 8,354 万 1,000 円とするもの	
論点又は質疑 によって明らか になった事項	<p>【歳入】</p> <p>○6 款 法人事業税交付金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県税交付金 6,000 万円の増額 <p>○11 款 地方交付税</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 普通交付税 4 億 4,793 万 6,000 円の増額 追加の交付があったことによるもの <p>○17 款 財産収入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市有地売払収入 2,817 万 4,000 円の増額 <p>○18 款 寄附金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ふるさと寄附金 1 億 3,000 万円の減額 昨年度返礼品で人気があったおせち料理 3 段重の申込みが競争相手の増加で減ったことによるもの <p>○19 款 繰入金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 財政調整基金繰入金 3 億 8,389 万 8,000 円の減額 <p>（主な質疑）</p> <p>「地方交付税の追加交付の内容は何か」との質問に「調整額の復活、臨時経済対策費の追加、臨時財政対策債償還基金費の追加である」との答弁</p> <p>【歳出】</p> <p>○人件費全般</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一般会計全体 153 万 8,000 円の減額 <p>（主な内訳）</p> <ul style="list-style-type: none"> 給料 609 万 3,000 円の増額 人事異動等によるもの 職員手当等 310 万 2,000 円の減額 人事院勧告に基づく給与条例の改正による期末手当等の 	

	<p>減額によるもの 共済費 460万7,000円の減額 期末手当の減額によるもの</p> <p>○2款 総務費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1項10目地域振興費 2億830万4,000円の減額 ふるさと寄附金1億3,000万円の歳入減額に伴うふるさと支援基金積立金1億3,000万円の減額、新型コロナウイルス感染症の拡大によるハロウィンイベントの規模縮小による開催経費の減額、今年度予定していた地域おこし協力隊員2名の着任が見込めないことによる募集・PR経費の減額など。 スマイル・ハロウィンパーティーの映像作品は、スタジオスマイルのユーチューブで随時公開している。 <p>○3款 民生費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3項2目扶助費 1億100万円の減額 生活保護受給者数の減少によるもの <p>○7款 商工費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1項1目商工総務費 バス路線維持費補助金991万2,000円の減額 新型コロナウイルス感染症による運賃収入の減少が予想を下回ったため、減額するもの 全体の経費から国、県の補助金、運賃収入を差し引いて、赤字となった部分を市が補助する仕組みとなっている。
<p>討 論</p>	<p>討論なし</p>
<p>結 果</p>	<p>全員賛成で可決</p>

議案件名	承認第1号 令和3年度山陽小野田市一般会計補正予算（第16回）に関する専決処分について
概要	<p>今回の補正は、国の経済対策において、子育て世帯に対して、子ども一人当たり10万円相当の給付を行うこととされ、当初の制度設計では、昨年末に現金5万円を給付し、追加で給付する5万円相当分はクーポンにより給付することが示されていたが、その運用が見直され、残りの5万円相当分を、先行給付と合算して現金で一括給付することが可能となったことから、これを速やかに支給するための予算措置として、令和3年12月20日に専決処分を行ったものである。歳入歳出それぞれ4億6,066万2,000円を追加し、予算総額は330億2,740万1,000円となった。</p>
論点又は質疑によって明らかになった事項	<p>○3款 民生費</p> <ul style="list-style-type: none">・補正の主なものは12節システム改修委託料431万8,000円、9,080人に対する追加5万円の子育て世帯への臨時特別給付金4億5,400万円である。・給付金は10万円を一括で振り込んでいる。・DV等への対応として、給付金は現に養育している保護者に振り込んでいる。・現金給付となった理由は、クーポンより現金のほうが良いという市民の声を参考に決定した。
討論	討論なし
結果	全員賛成で承認